

学校だより



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく 第443号 平成29年12月1日

〒336-0034 さいたま市南区内谷6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>



「Is There a Santa Claus?」(サンタはいるの?)

ポインセチア

(花言葉: あなたの幸せを祈る)

校長 山浦 麻紀

ポインセチアの赤と緑が美しい12月を迎え、学校ではいよいよ2学期のまとめの時期となりました。2学期は体育祭から始まり、多くの学校行事等が実施され、生徒のみなさんは全力で取り組んでくれました。体育祭や合唱祭、校外学習などを通して、学級全体のことを考えたり、仲間を思いやる気持ちを強くしたり、時には我慢をしたり、その結果として達成感、充実感、仲間との絆などを得ることができたことと思います。そして、今後の学校生活や進路決定などにも活かせることがたくさんあったこととも思います。3学期も、生徒のみなさんの走り抜く、歌い抜く、そして3年生を核とした、一日一日を共に創り上げる「レジェンド 精神」を期待します。

クリスマスシーズンになると、思い出すことがあります。それは、一世紀以上読み継がれている「社説」です。

1897年9月、アメリカのニューヨークに住む8歳の少女ヴァージニアは、学校で「サンタクロースはいるのか。」について同級生と言い争いになった。ヴァージニアは、サンタクロースは「いる」と主張したが、友達は「いない」と言い張った。ヴァージニアは家に戻りサンタクロースは実在するのか家族に質問した。すると父が地元新聞の「The Sun」紙に投稿するよう提案した。早速、ヴァージニアは、「サンタクロースがいるのか教えて。」と新聞社に送った。「The Sun」紙は、新聞社の顔と言われる「社説」にヴァージニアへの返事を9月21日に掲載した。

ヴァージニア、君の友達が間違っているよ。彼らは、見たもの以外は信じられないんだね。ヴァージニア、大人でも子どもでも何もかもわかるわけじゃない。この壮大な宇宙では、人間はとても小さなものなんだ。

Yes, Virginia, There is a Santa Claus. (そうだよ、ヴァージニア、サンタクロースはいるよ。)

愛とか、思いやりとか、いたわりとかがちゃんとあるように、サンタクロースもちゃんといるんだよ。そういうものが満ち溢れているおかげで、君の人生は美しく、喜びに満たされている。もし、サンタクロースがいなかったら、無邪気な子どもの心も、詩を楽しむ心も、人を好きと思う心も、全部なくなってしまう。みんな何を見たっておもしろくなるだろうし、世界を楽しくしてくれる子どもたちの笑顔も消えてなくなってしまうだろう。

不思議な世界には、どんな強い人でも、どんな強い人が束になってかかっていっても、こじ開けることのできないカーテンみたいなものがあるんだ。純粋な心、詩を楽しむ心、愛、人を好きになる心を持つ人が、そのカーテンを開けることができ、その向こうにある光り輝く世界を見ることができんだ。

サンタクロースは、いない? いいや、ヴァージニア、サンタクロースは、ずっと、いつまでもいるよ。これから何千年、いや十万年たっても、サンタクロースは子どもたちの心をわくわくさせ続けてくれるんだ。

今後も、内谷中は、教職員一同、「知・徳・体・コミュニケーション」のバランスのとれた生徒の育成に努めてまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをよろしくお願い致します。